

11月の乳幼児の健康診査

\*該当月に受けられない場合は子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	28年7月1日～21日生まれ	16(※)	12:45～13:00	一関保健センター
		28年7月22日～31日生まれ	17(※)		
	9～10カ月児相談	28年1月1日～16日生まれ	16(※)	8:45～9:00	
		28年1月17日～31日生まれ	17(※)		
	1歳6カ月児健診	27年4月1日～13日生まれ	10(※)	12:45～13:00	
		27年4月14日～30日生まれ	11(金)		
2歳6カ月児歯科健診	26年5月1日～14日生まれ	10(※)	8:45～9:00		
	26年5月15日～31日生まれ	11(金)			
3歳児健診	25年5月1日～16日生まれ	4(金)	12:45～13:00		
	25年5月17日～31日生まれ	18(金)			
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	28年7月生まれ	22(火)	12:45～13:00	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	28年1月生まれ	15(火)	9:00～9:15	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	27年4月生まれ	17(木)	12:45～13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	26年5月生まれ	15(火)		
	3歳児健診	25年5月生まれ	16(水)		

\*きょうだいなどの同伴でお手伝いが必要な人は託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

☎子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

information

ふれあいひろば

☎一関子育て支援センター ☎21470  
◇日時…月～(木) 9:30～15:30、(金)・第1  
(水)・第3(木) 13:30～15:30（祝日を除く）  
◇場所…一関保健センター

平成28年度「一関市こころの文化祭」

☎健康づくり課  
◇日時…11月18日(金)10:00～13:30開場9:30  
◇場所…一関文化センター（入場無料）  
◇内容…各団体の舞台発表、各団体の作品  
展示・販売、絵画展  
ゲスト 吉野崇氏、古川大氏

岩手県精神保健福祉センター公開講座③

☎岩手県精神保健福祉センター  
☎019-629-9617 FAX019-629-9603  
◇日時…11月19日(土)13:00～16:30  
◇場所…岩手県福祉総合相談センター  
◇対象…事故・犯罪被害などで大切な家族  
を亡くした人、一般  
◇申し込み…11月14日(木)までに

一関傾聴ボランティアともしび

☎健康づくり課  
◇日時…11月15日(木)10:00～11:30  
◇場所…一関保健センター

こころサロン一関

☎一関保健所保健課 ☎1415  
◇日時…11月19日(土)13:30～15:00  
◇場所…一関地区合同庁舎  
◇申し込み…前日までに電話で

フリースペースひだまり

☎健康づくり課  
◇日時…11月7日(木)、11月21日(木)の13:30  
～16:00  
◇場所…一関勤労青少年ホーム

医療と介護の窓

～みんなで守ろう地域医療～



文：一関地区広域行政組合

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

認知症の人が安心して暮らせるってどんな地域？

認知症は、65歳以上の15%にみられる身近な病気です。認知症の人を地域が優しく見守る体制が必要です。

認知症への理解を深め、見守る体制をつくるため、本年度から「認知症地域支援推進員」が配置されました。

地域での講話や個別の相談にも対応します。

また、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければいいのかを標準的に示すものとして「認知症あんしんガイドブック」を作成しました。（広報いちのせき8月1日号に折り込み配布済み）

☎一関西部地域包括支援センター（一関市役所本庁舎内）☎218618

☎一関東部地域包括支援センター（一関市役所千厩支所内）☎213040

Q 認知症はどんな病気ですか？

A 認知症は、脳への障がいによって、もの忘れをしたり、理解する力や判断する力が徐々に低下して、生活に支障が出てくる脳の病気です。

Q 認知症になったら何もできなくなってしまうのですか？

A 認知症は、ゆっくりと進行します。生活に色々な支障が起こることから、早期に相談することが大切です。進行状況に応じた、家族など周囲の支援、医療や介護などのサービスを利用しましょう。自分の役割や楽しみを継続したり、自分の身の回りのことができる時間を長く保ち、感情豊かに穏やかに過ごすことができます。

284人の豆力士による「晴れの一番」  
赤ちゃん相撲大会で健やかな成長を願う

「第14回みちのくせんまや赤ちゃん相撲大会」（愛宕花相撲保存会主催）は10月9日、千厩町の愛宕神社神楽殿で開かれました。同大会は地元で愛宕花相撲を継承する同保存会が2003年から毎年開催。全国から集まった284人の豆力士たちの取組に、会場は温かな笑顔に包まれました。

かみしも姿の親方に抱えられた豆力士たちは、行司の「ドッコイ、ドッコイ、ドッコイナ」の掛け声で顔を見合わせ、笑った方の勝ちとなります。

盛岡市の吉村信子さん(36)は息子の崇志君(1つ)と参加。「元気に育ってほしい」と子供の健やかな成長を願っていました。



26機の気球が青空を優雅に飛ぶ

一関・平泉バルーンフェスティバル2016

「一関・平泉バルーンフェスティバル2016」は10月14日から16日までの3日間、一関水辺プラザで行われました。同イベントは「2016熱気球ホンダグランプリ」の第4戦として開催。初日の6時30分から競技飛行が行われ、26機の気球が晴れ渡る空に飛び立ちました。

親子で訪れた片桐昌美さん(39)、舞香さん(8)、夢兜君(3つ)は「ゆっくり動く気球の中で、パイロットが慌ただしく動いていたのが印象的でした」と遠ざかる気球を眺めていました。

15日の夜には「バルーンイリュージョン」も行われ、訪れた人たちはバーナーで鮮やかに光る気球に見入っていました。

収穫の秋の恒例イベント

「館ヶ森収穫祭」で大地の恵みを味わう

「館ヶ森収穫祭」は10月8、9日の両日、館ヶ森アーク牧場で行われ、大勢の家族連れでにぎわいました。当日は「かぼちゃ積み上げ大会&かぼちゃ重量当てクイズ」、「とんとんダービー」など楽しいイベントが目白押し。

カボチャの積み上げ大会に参加した小野寺浩さん(52)、檜さん(11)は「バランスよく積むのが難しかった」と笑顔でイベントを楽しんでいました。

会場では直径2尺の大鍋で作ったいものこ汁も販売。訪れた人たちは、サトイモやブナシメジがたくさん入ったいものこ汁を口いっぱい頬張っていました。



初秋の一関路をさっそうと駆け抜ける

過去最多2,831人のランナーが力走

「第35回一関国際ハーフマラソン大会」は9月18日、市総合体育館を発着点に行われ、初秋の一関路をランナーが快走しました。大会は38部門（ハーフ、10<sup>キロ</sup>、5<sup>キロ</sup>）の男女年齢別で争われ、過去最多となる2,831人が出場しました。

当日は小雨が降る肌寒い天候。選手は雨をものともせず、ゴールを目指して力走しました。沿道に集まった市民らは小旗を振りながら選手に声援を送っていました。

スタッフとしてハーフ部門の先導係を務めた浅井峻雅君（一関学院3年）は「選手の熱気を間近に感じました。来年は自分も選手として出場したい」と意気込んでいました。